

歴史的街なみの保全・整備に関する意識調査

アンケート実施期間 平成29年2月10日 ~ 平成29年2月19日
 回答者数 183名 (登録者数 476名 うち配信成功数 396名)

性別

男性	131	72%
女性	52	28%
計	183	

年齢

20代以下	0	0%
30代	14	8%
40代	38	21%
50代	41	22%
60代	58	32%
70代以上	32	17%
計	183	

Q1 岡崎は、歴史的な街なみが残っていると感じますか

大いに感じる	21	11%
それなりに感じる	79	43%
ほとんど感じない	78	43%
まったく感じない	4	2%
分からない	1	1%
その他	0	0%
計	183	

Q2 現在お住まいの地区は、歴史的な街なみが残っていると感じますか

大いに感じる	6	3%
それなりに感じる	42	23%
ほとんど感じない	70	38%
まったく感じない	64	35%
分からない	1	1%
その他	0	0%
計	183	

Q3 岡崎城周辺や旧東海道沿いは歴史的な街なみが残っていると感じますか

大いに感じる	13	7%
それなりに感じる	106	58%
ほとんど感じない	53	29%
まったく感じない	9	5%
分からない	0	0%
その他	2	1%
計	183	

Q4 歴史的な建造物が減少していくことをどのように感じますか

大いに気になる	64	35%
それなりに気になる	98	54%
ほとんど気にならない	15	8%
まったく気にならない	5	3%
分からない	1	1%
その他	0	0%
計	183	

Q5 保全・整備されている歴史的な街なみをどう思いますか

大いに魅力を感じる	79	43%
それなりに魅力を感じる	81	44%
ほとんど魅力を感じない	13	7%
全く魅力を感じない	3	2%
分からない	6	3%
その他	1	1%
計	183	

Q6 歴史的な街なみを保全・整備していくことについて、どのようにお考えですか		
積極的に行っていくべきだと思う	77	42%
必要に応じて行っていくべきだと思う	89	49%
そのような必要性をあまり感じない	6	3%
そのような必要性を全く感じない	1	1%
分からない	3	2%
その他	7	4%
計	183	

Q7 歴史的な街なみをどのような資金源で保全・整備していくべきだと思いますか（複数可）		
所有者や管理者が保全・整備すべきである	41	9%
地域住民が保全・整備すべきである	59	13%
寄付や基金を活用すべきである	108	24%
市が実施、支援をすべきである	126	28%
国が支援をすべきである	65	15%
観光客からもっと入場料などをとるべきである	31	7%
分からない	6	1%
その他	8	2%
計	444	

Q8 歴史的な街なみを保全・整備していくために、どのような手法が効果的だと思いますか（複数可）		
歴史的建造物の修理・修景	136	28%
道路の舗装、ガードレールの美装化	38	8%
電柱・電線類の地中化	99	20%
施設案内板の整備	92	19%
街なみ景観を阻害する建造物、屋外広告物の除却	107	22%
分からない	4	1%
その他	13	3%
計	489	

Q9 歴史的な街なみの保全・整備の為、あなたの世帯では毎月どのくらい税負担しても良いと思いますか		
200円 / 月・世帯	51	28%
500円 / 月・世帯	45	25%
1,000円 / 月・世帯	14	8%
1,500円 / 月・世帯	2	1%
2,000円 / 月・世帯	4	2%
3,000円 / 月・世帯	0	0%
払わない Q9-1へ	58	32%
その他	9	5%
計	183	

Q9-1 「払わない」理由は何ですか		
保全・整備が行われることは良いとは思いますが、毎月税金を支払う価値はないと思うから	7	12%
歴史的な街なみの保全・整備の必要性を感じないから	0	0%
税金を集めるという仕組みに反対だから	17	29%
これだけの情報では判断できないから	20	34%
その他	14	24%
計	58	

Q10 歴史的な街なみの保全・整備のために、あなたが関わってみたいことはありますか（複数可）		
自宅や事務所を周囲の景観に調和するようにする	20	7%
保存・整備のための募金・寄付	41	14%
まち歩きやマップづくりなどのイベントへの参加	67	23%
情報発信やPR活動	41	14%
イベントの企画や運営	34	12%
特になし	49	17%
分からない	28	10%
その他	8	3%
計	288	

Q3

松並木があるが規模が小さい。本格的な植林をしてはどうか？
他の町は別として岡崎に歴史的町並みはない、どこにありますか？

Q5

大規模であれば魅力を感じるし意味はあると思う

Q6

保存可能な場所であれば、整備してゆく
今のよう中途半端では、どうにもならない
集約して残すことはいい
存在しない街並みに費用をかけることは無い
大規模であれば実施してもよいが小規模であれば必要なし
保全、整備する理由による。街並みによる
保存地区を決めて保存したらどうか

Q7

Q6と同じ（存在しない街並みに費用をかけることは無い）
条例により規制すべき
実施するのであればすべて市の所有物とすること
保存を望むメンバーを募り、活動する
受益者負担を基本として、国・県・市がサポートすべき
所有者や地域に保全・整備の重要性を示すために一律の指針が要
県の支援も必要
歴史的な街並みの市民が分かるようにする施策要

Q8

建物を修理しても、そこに人がすまなければ意味が無い。現代人が
歴史的町並みがないのに、何故保全・整備が必要か
建築業者への指導
価値を広く知らしめることで多くの関心を集める取り組み
市民教育（価値を理解する）。ルール（取り決め）作り
街並みを、横丁のような1本の通りにして残す。
歴史的建造物と共に岡崎らしい町並みにすることが重要
ごみの収集が午後になってもされていない。旅行者の目に触れます
施設の歴史的町並みであることの広宣の施策 要
伊勢のおかげ横丁みたいな手法が理想
住民の熱意、意欲等の醸成が必要
過去の建造物の再現
まずは市の所有物とすること

Q9

そんなこと分かるはずがない。まずは、どのくらいの費用が必要か
特別に払わず、今の税の中で対応と利益を置ける地域商工会と寄付
年間¥1000
決めて負担するのは負担が大きい
対象物による
100円まで
いきなり税負担になる発想がわからない。市の人件費減額必要
街並み保全のための税金、と言われるとよくワカラン
年間1000円程度

Q9-1

各種地方税を相当額払っているの中でまかなわれるべき
税金の使い方が下手だから、効果がないので。民間にやらせるべき
自分たちの生活に余裕がないのに税金ばかり勝手につかわれる
市役所が税金で解決する問題ではない。補助金政策ではだめ
経済的余裕がないから
特定の地域に優先順位の低い施策に税金を投入することは問題
先ず何処に恩恵が有るのか考えて。市民じゃないでしょ
無駄遣いしている税金で補うべし
月千円程度で可。ただし徴収方法は要検討
もっと必要としている事業に充てるべき
他の事業を見直すべき
市内に保全すべき歴史的な街並みは存在しないため
全体の予算範囲内で予算配分を見直すべきだとも思う
短絡的に税金を使う前に、考えるべきアイデアも沢山あると思う

Q10

歴史的な建物に限らず身近な場所をきれいに保つ
清潔な町並みも景観の一つ
ない街並みにどうかかわれというのか、わかりません
歴史を顧みずに、余計な施設を作る市長以下の役所のチェック
宮係を3年間引き受けている
市内に保全すべき歴史的な街並みは存在しないため意味がない
岡崎リボンとしてイベント企画、名古屋などの百貨店や駅で広報
情報発信やPR活動が最重要